

# 焼尻地区「町政懇談会」を開催しました

9月28日、焼尻地区で町政懇談会を開催し27名のみなさんが参加しました。町からは町長はじめ、課長などが出席しました。今月号では、みなさんとの意見交換の一部(要旨)をご紹介します。



はじめに町から、「公共施設マネジメント計画」についての説明を行い、その後、意見交換を行いました。

◆印は参加者の発言内容、▼印は町長はじめ、町の発言内容です。掲載の都合から、発言の内容は一部抜粋して掲載しています。

◆去年か今年の春から、焼尻のヘルパー派遣制度のサービスが止まっている状態です。春先の

時点で利用者が1人いたけれども、新しく申し込みたい人はもう、申し込みはできません。今現在受けている人も、ヘルパーがいなければ地域でボランティアとしてみてくれないかと社協から話がありました。そういう言われても、みんながそれぞれ老いている状態で、動ける人は他に仕事をしているので難しい。また、ボランティアというものが果して1回2回は受けたとして行けるかという、行けないのが現状だと思います。それで、2級じゃなくて3級ヘルパーも行けたら仕事として収入に繋がっていく、そういう方法がないか対策を練ってもらいたいと思います。

▼対策につきましては、いろいろ社協と協議を重ねていますが、焼尻の外からということは、なかなか難しいものです。島の中でどなたか担っていただいている方がいないかというところは考えています。もし、そういう情報がありましたら、ぜひ、お寄せいただけると大変ありがたいと思っております。人材の育成につきましても、資格取得に

ついて新規の方にも今年、助成金を出してという形でやっているんですけども、なかなか新規の方も現状出てきていただけないような状況でもありますので、そこも併せて社協、包括支援センターとも相談させていただきたいと思っております。

◆焼尻には未就学のお子さんが2人住んでいるんですけども、保育所や幼稚園がないので、自宅以外で子どもの遊ぶ場所がどこかあったらいいかと常々思っています。年に1回天売のちびっこランドに行く行事があるんですが、せめて天売に行くにしても2、3回あるとか、可能であれば本町の保育士さんが来ていただく機会が年に数回でもあったら、もう少し子育てしやすいと感じるのではないかと思います。

▼遊ばせる場所の確保ということですが、持ち帰らせていただいている、例えば、この研修センターや教育施設を使う、可能であればそういう対応をさせていただきたいと思っております。もうひとつ、子育て支援に係る保育士の派遣という形で、現在は1回

天売の方でみなさん方が集まって交流する事業を行っています。これは来年に向けて現在検討している内容で、決定ではないですが、連絡船の運航回数が多い時期、6月〜9月ぐらいを一応の目的といたしまして、月1回うちの保育士を派遣するような予定で、天売の方で集団的な遊びができるように考えていきたい。なおかつ、その旅費等も可能であれば考えていきたいということを進めています。これについては、来年に向けた事業ということで決まりましたら、周知をさせていただきますと思います。

◆マクドナルド(上陸の地)のことですが、看板が無いんですよ。「すぐ作る」と言っても、未だに作っていません。看板を作るだけで、立派なものを作らなくても、観光客が来て記念写真を撮ってもらえばいいのだから。もう一点、雲雀ヶ丘公園のヘッド口を取って欲しい。取るのは簡単だと思う。また、鷹の巣の展望台について、景色がともいいうから、もう少し高くしてもらえると、観光客も喜ぶし、トイレ

も何とかしてもらいたい。もう一点は、役場横の(公園通りの)道路に穴が開いているので直してほしい。

▼マクドナルドの看板については、戻って検討します。雲雀ヶ丘公園のヘッド口と鷹の巣の展望台については、北海道の管轄なので、町が勝手にできるものではないので、確認します。(役場横の穴については、新年度に入ってから話を伺っていますので、来年度に向けて努力をしたと思います。

◆役場から上がっていく道路は、車が通行止めになっているが、エンジンサクの咲いているところまでを通行止めにして欲しい。車を止めて歩いて行くのは年寄りには大変だから。5月の連休の時は年寄りもたくさん来るから、2週間でも3週間でも通行止めにして欲しい。▼ここでは即答できないので調べてみます。

◆島に住んで2年目になります。個人的に聞いてみたい事なんです。学校で年に何回か火事だとか津波だとかを想定して避難

訓練をやっているんですが、津波の時は昔の高校の坂を上って避難をしています。だいたい1分半から2分くらい子どもたちは歩いたり、駆け足で移動はできるんですが、冬に雪が多い中で、「もしこうなったらどうなるのか」と。大きな津波が来たらすぐに移動できるのか、防災だとか学校周辺のことを考えた時に、どのような考えを持っているのか聞いてみたいです。

▼今はまず、災害の情報を共有しなさいとなっています。少し前だと想定外というように、少いで、オホーツク海を移動する大型台風であるとか、爆弾低気圧が北海道全域を暴風域に巻き込むというようなことがあって、測候所や道路開発(留萌開発建設部)からの情報は早くも届いています。その情報をいち早く住民に知らせるため、状況によっては避難準備情報というものを事前に周知し、そして住民が直接逃げる行動をとれるようにしなさいとなっています。

建物の耐震化ですとか、避難路の確保ですとか、そういうことは行政がしなさいということになっていますので、今の話を土

俵にのせさせていただきます。そういうことは必要だと考えております。

◆マネジメント計画のことなんですけれども、学校を含めた複合化ということが出ているんですが、意外とこれは大きな問題でして、この場で即答だとか意見も中々出づらいいと思いますので、ひとつ役場支所を中心に各方面委員さんとか各職場の代表だとか団体の代表等を集めて、今後島としてどうしたらいいかということを何度か話し合いをもつ機会を作って欲しい。そこでの意見について、本庁の意見をフィードバックしてもらう形を何とか検討して欲しいと思います。

▼それは、やっていきたいと思っております。

## お問い合わせ

地域振興課広報広聴係  
☎ 68-7013 (課直通)

## 国道232号「築別橋」が完成しました

平成25年度から留萌開発建設部が整備を進めてきた「築別橋」がついに完成しました。昭和35年に築別川に架橋された旧築別橋は老朽化や幅員が狭まじこともあり、橋の架け替え工事が進められてきました。

新しい橋は、道幅が広くなり、大型車でも安心して通行できるようになります。

### 「新築別橋」

・橋長 L=178.20m ・幅員 W=8.50m (車道)



橋の完成を記念して、築別地区の小学生として選ばれた有野さん姉妹が、新しい橋の橋名板の文字を書きました。



旧築別橋

新築別橋